

越原学園創立100年記念 平成29年度 学長特別奨学生 募集要項

越原学園は、平成27年（2015年）学園創立100年を迎えました。

学園創立100年を記念して、名古屋女子大学および名古屋女子大学短期大学部で、合計最大100名の「学長特別奨学生」を選抜します。

1. 「学長特別奨学金」制度

- (1) 学長特別奨学金制度は、大学・短大の初学年度より（学業のみに係わらず）在学中に達成したい目標を設定し、目標達成のための計画を立て、その計画に沿って学業その他を着実に遂行していく学生を応援する制度です。
＜奨学生申請＞ 以下より選択します。
 - A. 「資格合格チャレンジ」奨学生
 - B. 「学生ボランティア」奨学生
 - C. 「はぐくむ図書館」奨学生
 - D. 「自己実現」奨学生
- (2) 学長特別奨学生は、特別奨学金を支給されます。（年額12万円・返済不要）
- (3) 学長特別奨学生は、1年間の目標達成の進捗状況を確認のうえ、2年次以降の継続を決定します。

2. 「学長特別奨学生」審査

- (1) 募集人員 大学・短大で合計最大100名
- (2) 応募資格 「学力検査選抜」に合格し、所定の入学手続をした者
- (3) 給付対象入試
学力検査選抜：一般入試Ⅰ期・Ⅱ期、大学入試センター試験利用Ⅰ期・Ⅱ期、センタープラス
- (4) 応募・審査日程
[応募期間] 平成29年3月13日(月)～3月17日(金) (消印有効)
*「学長特別奨学生エントリー申請書」を郵送、または持参し提出する。(審査料不要)
*「学長特別奨学生エントリー申請書」は合格通知に同封します。
[第1次審査発表] 平成29年3月24日(金) (郵送発表)
*書類審査の通過者に対し、第2次審査「プレゼンテーション」の案内を速達で郵送します。
[第2次審査] 平成29年3月29日(水)、30日(木)または31日(金)の指定日時
*審査日時の希望・指定はできません。
[最終審査発表] 新入生オリエンテーションにて発表します。
*第1回特別奨学金(4万円)は、5月中旬に口座振込で支給されます。
- (5) 審査方法
[第1次審査] 書類審査
「学長特別奨学生エントリー申請書」
*在学中に達成したい目標が明確に設定されているか、目標を達成するための具体的な行動計画が立てられているかを審査します。基準を満たす応募者が第2次審査へ進みます。
[第2次審査] 目標達成プレゼンテーション
*目標設定および目標達成のための具体的な行動計画について、学長等幹部教職員へプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの後、質疑応答を行います。

3. 奨学金支給後の「目標達成管理」(PDCA)について

- (1) 学長特別奨学生の目標達成における進捗状況を3か月ごとに確認のうえ、第2回特別奨学金(4万円)は10月、第3回特別奨学金(4万円)は1月に支給されます。
- (2) 目標達成の進捗が着実に進んでいることを確認のうえ、学長特別奨学生としての次年度継続を判断します。

4. 奨学生申請

以下の4種類の中から選択してください。

A 「資格合格チャレンジ」奨学生

I 奨学金授与対象

以下の資格・採用試験に合格する目標達成のための計画を立て、着実に遂行する学生を対象とします。

- ・管理栄養士
- ・一級（二級）建築士
- ・宅地建物取引士
- ・経済産業省 IT パスポート
- ・経済産業省基本情報技術者
- ・日商簿記1級
- ・色彩検定1級
- ・秘書技能検定1級
- ・家庭科教諭（中学／高校）
- ・公立小学校教諭
- ・公立幼稚園教諭
- ・公立保育所保育士

II 活動計画

目標を実現するための学習・受験計画を立案し、遂行します。

B 「学生ボランティア」奨学生

I 奨学金授与対象

自主的な活動を通して、主体的に学び、挑戦し、成長を続ける学生を対象とします。継続的に活動を行い、その経験が大学生活の糧となり学びとなり、成長に繋がるよう計画的に学生生活を遂行できる学生を求めます。

II 活動内容の例

【学びの場から】

▶学生サポーター

学生生活に主体的に取り組み、2年次以降、修学（学習）・学生生活を始めとする様々な問題について、1年生が不安感や悩み事を抱えたまま学生生活を過ごすことのないようにするため、1年生を支える学生ボランティアです。

▶オープンキャンパスボランティア

オープンキャンパスへの来場者に対して、大学を案内したり、学科のイベントに参加し、授業や学生生活の説明を行います。

▶学習サポーター・学習チューター・トワイライトスクールボランティア

自治体が進める学習支援事業における活動や、実際の学校現場で教員とともに学習支援を行います。

▶保育所・施設等でのボランティア

保育所（園）や幼稚園、施設において、日々の保育活動や行事のサポートを行うボランティアです。

【地域貢献活動】

▶地域社会活動（区民まつり・おもてなしボランティア）

本学のある瑞穂区を始め、区役所や市役所の町づくり活動に積極的に参加します。

▶学部や学科の授業を通じた地域コミュニティづくりへの参加活動

学科で学んだ知識や実習での経験を活かし、子育て支援事業など地域貢献活動を行います。

▶地域清掃活動

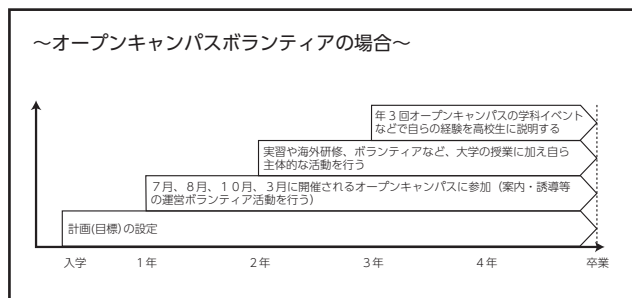
大学周辺のクリーンアップ活動を率先して行い、クリーンアップ活動のリーダーとして計画的に実施します。

▶防犯活動・見守り隊

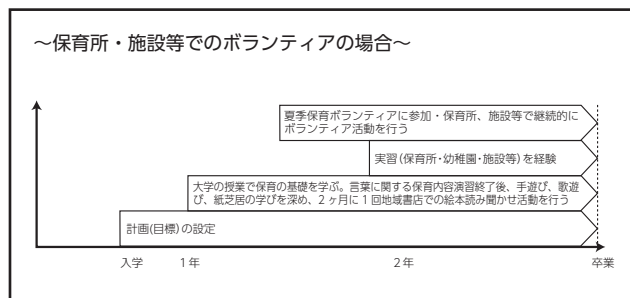
学区の防犯パトロールに参加したり、連れ去り防止劇を行います。その活動に積極的に参加し、防犯活動、子どもたちの見守り隊として地域に貢献します。

活動計画（例）

【大学】



【短期大学部】



C 「はぐくむ図書館」奨学生

I 奨学金授与対象

「はぐくむ図書館」プログラムに参加し、自身の作ったプログラム（「はぐくむ」プラン）に沿って意欲を持って目標を達成する学生を対象とします。プログラムでは、読書を計画的に進めるとともに、はぐくむ活動（「自分をはぐくむ」「図書館をはぐくむ」）に参画することで、大学・短大での学びを深めます。

II 「はぐくむ図書館」プログラム

1) 活動内容

【自分をはぐくむ】

- ・自己のキャリアデザインに沿った読書プランをつくり読書をする。

大学：「読書 Diary」での読書記録と提出

短大：読書推進活動に参加し、7,305 ページを読了

取り組む本（例）

- ▶ 教養を高める図書
- ▶ キャリア実現のための図書
- ▶ 授業・研究のための図書（シラバス参考図書等）

- ・読書・学習活動に参加して学習を深める。

▶ 読書感想文コンクールへの応募

- ・リーダーシップ、社会基礎力を磨く。

▶ 図書館イベント・活動への参加

- ・その他、自身で考えた「自分をはぐくむ」プログラムの実践。

【図書館をはぐくむ】

- ・学科選書や、学習参考図書の選定に参加する。

- ・図書館 SA（スチューデント・アドバイザー）として後輩への学習サポートを支援する。

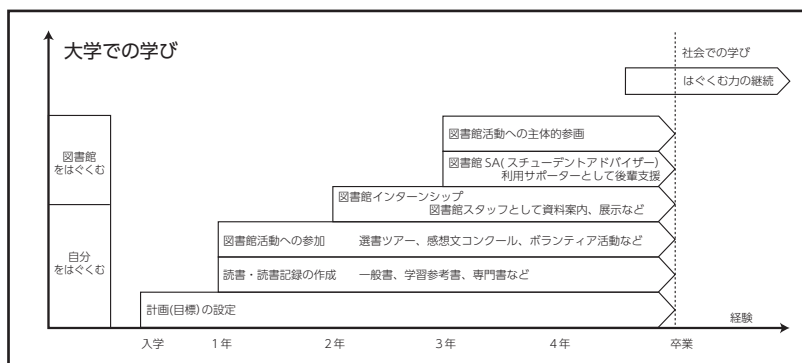
- ・図書館インターンシップとして、授業参考図書の選定、案内の作成、館内展示など図書館業務に参加する。

- ・図書館サポーター、イベントヘリダーとして参加し、課題解決型活動を実践する。

- ・その他、自身で考えた「図書館をはぐくむ」プログラムの実践。

2) 活動計画（例）

【大学】



【短期大学部】

